



たちばな



ぶんせき こうちよう
[文責 校長]

地域と連携し、子どもを育てていく学校に

これからは、学校だけでなく社会全体で子どもの育ちを支えていく「地域とともにある学校づくり」の必要があります。また、学習指導要領では、「よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創る」という理念を学校と社会が共有し、社会と連携・協働しながら未来の創り手となる子どもたちを育てていくことが大切だと明示しています。本年度も、たくさんの地域の方に学校に来ていただき、地域の方と一緒に子どもたちを育てていきたいと思っています。保護者の皆様にも、学習の支援等でお声をかけさせていただきま。学級便り等でお知らせいたしますので、ご協力よろしくお願いいたします。

民生委員・児童委員さんに学校訪問をしていただきました

6月6日(金)に、校区の民生委員・児童委員さんに学校に来ていただきました。授業参観をしていただいた後、子どもたちの様子や学校の重点目標について話をさせていただきました。民生委員・児童委員さんたちからは、「子どもたちが落ち着いていますね。」「地域でもよく挨拶をしてくれます。」など、子どもたちをたくさんほめていただきました。いつも見守っていただいている民生委員・児童委員の方々に感謝の気持ちでいっぱいになりました。



地域の方に、授業に入ったり読み聞かせをしたりしていただいています



【体力テストの指導】

体力テストには、八女市の体育指導員の方々に来ていただきました。記録を伸ばすコツを教えてください、測定をしてい

ただいたりしました。



【朝の活動での読み聞かせ】

読書ボランティア「ネリノ」さんに、朝の活動の時間、読み聞かせをしていただいています。子どもたちは、読み聞かせを楽しみにしています。心も頭も豊かになる時間です。

25日は「あいさつ運動の日」保護者のみなさんと一緒に子どもたちを育てます

毎月25日は「あいさつ運動の日」です。給食保健・校外指導委員会のみなさんと地区委員長さん、役員さんが、昇降口の近くであいさつをされます。6月は25日(水)に立っていただきました。あいさつがよくできていた学年を、9月と12月に表彰していただいています。たくさんの学年が表彰されるといいなと思います。

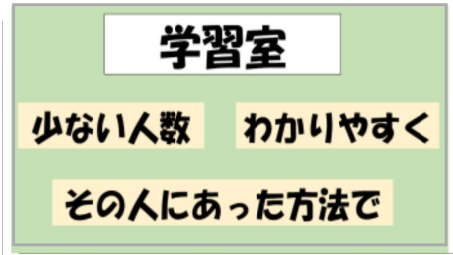
来月は、7月18日(金)が、「あいさつ運動の日」です。



【気持ちのよい挨拶ができています】

思いやりのある子どもたちに

今年も、学習室について、子どもたちに話をしました。学習室では、少ない人数で、一人一人にあった方法で学習を行っていることを話しました。誰にでも、好きなことや苦手なことがあるので、お互い思いやりの気持ちをもって支え合うことができるようになるといいなということを経本の読み聞かせをしながら伝えています。



立花中学校とも連携しています

立花小学校と立花中学校では、小中連携教育をすすめています。具体的には、「学力向上部会」「生徒指導部会」「人権・同和教育部会」の3つの部会に分かれ、情報共有をしたり、授業を見合ったりして、教育活動の充実を図っています。今回は、3つの取組を紹介いたします。

①家庭学習強化週間

「家庭学習強化週間」は、立花中学校の定期考査の時期に合わせ、小学生も集中して家庭学習に取り組もうということで、年に4回設定しています。

本年度第1回目は、6月2日(月)から6日(金)までの1週間でした。

各学年、目標の時間を設定し(学年×10分)、宿題や自主学習、読書などに取り組みました。

その結果、全校の目標達成率は94%でした。どの学年もやる気をもって楽しく学習ができたようです。プリントの提出等ご協力、ありがとうございました。

筆箱の中も時々見ていただけると助かります。《とがった鉛筆・消しゴム・ものさし・赤鉛筆(赤ペン)・青鉛筆(青ペン)》

②出前授業

立花中学校の先生が、立花小学校に出前授業をしに来られます。昨年度は、英語と、技術の授業をしていただきました。専門の知識や技術をもってある中学校の先生方の授業は、楽しくわかりやすいと感じました。本年度は、7月10日(木)に、体育の授業を行っていただく予定です。

③立花中学学習会

夏休みに、立花小学校の先生達が、立花中学校に行って、夏休みの課題を中学生と一緒にします。中学校の学習内容を知ることができ、小学校での指導に生かすことができます。

